

# 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

## 令和2年度 事業報告書

### 公1：景観まちづくり事業

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

## 1 各種情報の収集、発信及び啓発

### (1) 広報活動事業

#### ア ニュースレター「京まち工房」

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況、当財団の事業等を掲載した広報紙ニュースレター「京まち工房」を発行した。平成30年度から表紙に京都を題材にした漫画を数多く手がけているグレゴリ青山さんが、漫画「京都人の京都知らず」にて京町家やまちづくりの知られざる一面を描き、賛助会員及び関係団体、大学、区役所等に配架し、広く市民のまちづくりに対する意識を普及・啓発した。

- ・発行回数：年4回（6月、9月、12月、3月）
- ・発行部数：各号4,500部
- ・配布先：賛助会員、全国のまちづくり関連機関、京都府下大学等

号数	発行日	概要
第91号	R02. 6. 20	(特集) 京町家等継承ネット「京町家なんでも相談会」を開催 「京町家をリノベする、その前に。」を発行 他
第92号	R02. 9. 20	(特集) 寄稿「with コロナ時代」のまちづくり 展覧会「Machiya Vision」を開催中 他
第93号	R02. 12. 20	(特集) 嵐山景観づくり計画書が認定されました。 「五条坂なかにわ路地」～多世代居住の子育て路地として～ 他
第94号	R03. 3. 20	(特集) 京町家や歴史的な建物を守るための様々な取組 まちセンがサポート！「With コロナと地域まちづくり」 他

#### イ 財団ホームページ等

平成28年3月に新規開設した財団ホームページを活用し、当財団の取組や景観・まちづくりに関する最新情報を発信した。また、財団公式フェイスブックページでは、イベント情報や当財団の活動状況等を積極的に発信することで情報力強化に努めた。

- ・財団独自ホームページアクセス件数 72,128件（令和元年度末実績 67,510件）
- ・ひと・まち交流館内・センター（施設）ホームページアクセス件数 236,882件（令和元年度末実績 209,743件）
- ・メールマガジンの配信 29回（令和元年度末実績 29回）
- ・メールマガジン購読者数 1,896人（令和元年度末実績 1,815人）
- ・公式フェイスブックページ投稿数 65件（令和元年度末実績 95件）

## ウ 各種啓発冊子、技術資料等の販売

当財団が発行する書籍や受託販売書籍、京町家等組み立てキットなど、景観・まちづくりに関する各種啓発冊子等を販売した。

### (7) 冊子等の販売

- |                                  |                        |
|----------------------------------|------------------------|
| ① なるほど！「京町家の改修」                  | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ② 京町家の再生                         | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ③ 京町家物語                          | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ④ Kyoto Machiya Restaurant Guide | (Judith Clancy)        |
| ⑤ 町家型共同住宅設計ガイドブック                | (京都市)                  |
| ⑥ 大学的京都ガイド                       | (株式会社昭和堂)              |
| ⑦ 京都・岡崎年代史                       | (京都岡崎魅力づくり推進協議会)       |

他

### (4) 京町家キット等の販売

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| 京町家等の組み立て式キット | (株式会社さんけい)             |
| 京町家ポストカード     | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |

## (2) 景観・まちづくり大学等

住民の主体的な地域まちづくり活動の展開に向けて、住民が自らの居住する地域を理解し、魅力あふれる安心・安全なまちづくりを自らの役割として自覚し、地域ごとの具体的な課題解決に向けた取組を進める必要がある。

そのため、令和2年度は、引き続き、まちづくりの担い手育成を目指し、まちづくりに取り組むうえでの基礎的な知識等を習得する講座を実施するとともに、まちづくりに関心のある方がまちづくり活動を始める契機となるよう、地域課題解決に向けたより実践的な内容の講座も実施した。

京町家の保全・再生に向けては、京町家の所有者、居住者を主な対象としながら、その他、居住や利活用を検討している方、京町家でのくらしに関心を持つ方等にも参考となる、実践を重視したカリキュラムを中心とし、京町家の継承等に係る基本的な課題解決と京町家の魅力の普及を図った。

## ア 京のまちづくり史連続講座

まちづくりに関心の高い市民、学生、専門家を対象に、京都の景観形成とまちづくりの歴史を学び、京都の景観形成に資するまちづくりに対する理解を深めた。

市民を対象に、京都のまちづくりの歴史を学びこれからのまちづくりを考えた。

※内容(全9回)有料 1回1,010円(通年受講は5,090円)

開催日	講座名	講師(話し手)	出席者
R2.6.25	近世の町衆の活躍とまちのルールづくり	日向進氏(京都工芸繊維大学名誉教授)	24
R2.7.6	京都の神社と祭り 都市住民が育み支えた歴史と空間	本多健一氏(大阪観光大学准教授)	20
R2.8.17	近世京都における禁裏とまちのつながり	岸泰子氏(京都府立大学准教授)	19
R2.9.25	番組小学校に学ぶまちづくりの知恵	林潤平氏(京都市学校歴史博物館学芸員)	12

R2. 10. 23	近代化政策とコミュニティの影響力	中川 理 氏 (京都工芸繊維大学教授)	23
R2. 11. 27	京都の近代建築とその保存活用について	笠原 一人 氏 (京都工芸繊維大学助教)	29
R2. 5. 16 振替 R2. 12. 12	京のまちづくりと京都文化遺産	高橋 康夫 氏 (京都大学名誉教授)	19
R3. 1. 22 振替 R3. 2. 5	伝統的な減災の知恵と住民視点の防災まちづくり ※オンライン(ZOOM)開催	大窪 健之 氏 (立命館大学歴史都市防災研究所所長)	30
R3. 2. 26	異なる価値観の共存をめざしたまちづくり ※オンライン(ZOOM)開催	高田 光雄 氏 (京都美術工芸大学教授)	35
合 計			211

※令和3年2月5日及び2月26日の講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から急遽オンライン開催となったため、受講料を無料とした。

## イ 京町家再生セミナー

主に京町家の所有者、居住者を中心として京町家に関心のある方を対象に、町家の暮らし、活用、継承への実践的知識を深めるため、京町家の維持管理、改修、活用、相続等について専門家による講義を行った。

※内容 (全6回) 有料 1回500円

開催日	講座名	講 師 (話し手)	出席者
R2. 7. 29	まちになじむ京町家の意匠	栗山裕子氏 (WIN 建築設計事務所主宰) マツモトヨーコ氏 (画家、イラストレーター)	32
R2. 8. 21	親から受け継いだ京町家の中を片づける- 再生のためのはじめの一步 -	古田ゆかり氏 (生前整理アドバイザー準一級認定指導員)	15
R2. 10. 27	これからの季節の京町家のお手入れ・傷みの早期発見、早期対応	小野敏明氏 (株式会社アラキ工務店)	13
R2. 11. 7	京町家まちづくりファン্ডを活用した京町家の再生事例	中川幸嗣氏 (中川幸嗣建築設計事務所代表)	12
R3. 1. 27	伝統構法の建物における防耐火性能 ※オンライン (ZOOM) 開催	安井昇氏 (桜設計集団一級建築士事務所代表)	27
R3. 3. 6	京町家ではじめる「温故知新」な暮らし ※オンライン (ZOOM) 開催	美濃羽まゆみ氏 (手作り暮らし研究家)	30
合 計			129

※令和3年1月の「伝統構法の建物における防耐火性能」及び3月の「京町家ではじめる『温故知新』な暮らし」に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から急遽オンライン開催となったため、受講料を無料とした。

## ウ 地域まちづくりセミナー

京都のまちがこれからも「住み心地良いまち」であることをめざし、「都市格のあるまち」について改めて考えつつ、これからの京都のまちについて考えることを目的として講演を開催した。

開催日	名称	実施内容	参加者
R3.3.2	他都市に学ぶ、京都の都市デザインの模索 ―アフターコロナを見据えて―	嘉名光市氏（大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻教授）	30

## エ 各種団体等との協働セミナー等

景観・まちづくりに関わる、地域、市民団体、職能団体、NPO法人、学会、他都市の中間支援組織等との協働により、セミナー等を共催した。

### (7) 景観エリアマネジメント講座

まちづくりに関わる様々な分野の専門家を対象に、京都の景観に対する幅広い知識と高い見識を持つ人材を養成することを目的として、その知識を得るための基礎講座、フィールドワークを中心に地域での活動に必要なスキルを得るための実践講座をNPO法人京都景観フォーラムとの共催事業として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により全講座が中止となった。

### (イ) 文化財マネージャー育成講座

京都市、NPO法人古材文化の会とともに「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」を構成し、同委員会の主催により、歴史的建造物の調査・保存・活用やまちづくりを実践する文化財マネージャー（建造物）を育成することを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」、及び文化財マネージャー（建造物）のスキルアップを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座スキルアップ講座」を開催したが、「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月4日の講座を最後に延期している。

#### ・文化財マネージャー育成講座（第12期）

回	開催日	内容	講師
令和元年度開催			
1	R2.1.11	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論	日向 進氏（NPO法人古材文化の会） 三原一男氏・中川慶太氏（京都市）
2	R2.1.25	民家建築	中川 等氏（大阪産業大学）
		京都の文化財	石川祐一氏（京都市）
3	R2.2.8	住宅建築	日向 進氏（NPO法人古材文化の会）
		歴史的建造物の継承と暮らし	秦めぐみ氏（秦家住宅）
		見学	京都市登録有形文化財秦家住宅 重要文化財杉本家住宅
4	R2.2.22	寺社建築	菅澤 茂氏（工学院大学）
		歴史的建造物の技法／瓦葺	寺本光男氏（瓦葺職）
		歴史的建造物の技法／左官	浅原雄三氏（左官職）

5	R2. 3. 7	演習1 指定文化財の修理現場見学 ／萬福寺	竹下弘展氏（京都府）
6	R2. 3. 21	循環型社会と保存・活用	浅岡美恵氏（弁護士）
		近代洋風建築	石田潤一郎氏（武庫川女子大学）
		歴史的建造物の再生理念	藤岡龍介氏（建築家）
		観光活用とその課題	糟谷範子氏（京都市）
令和2年度開催			
7	R2. 4. 4	庭園の様式	仲 隆裕氏（京都造形芸術大学）
		保存・活用のマネージメント	宗田好史氏（京都府立大学）
		歴史的建造物の調査と評価	中川 等氏（大阪産業大学）
8	R2. 4. 25	演習2 歴史的建造物調査	（建築家と京都市文化財マネージャー）
9	R2. 5. 9	歴史的建造物と耐震補強	井上年和氏（京都美術工芸大学）
		保存・活用と再生設計／構造設計	井手晃二氏（構造設計家）
		保存・活用と再生設計／意匠設計	木下龍一氏（建築家）
		演習2 の中間報告 修了課題の中間報告	
10	R2. 5. 23	歴史的環境の整備	山崎正史氏（立命館大学）
		保存・活用とまちづくり/修徳学区	西田教子氏（建築家・文マネ）
		保存・活用とまちづくり/西舞鶴	大滝雄介氏（建築家・文マネ）
		演習2 の講評 演習3 の説明 修了課題の中間報告	
11	R2. 6. 6	演習3 保存・活用相談	（建築家、京都市文化財マネージャー）
12	R2. 6. 20	文化財保護法	武内正和氏（文化庁）
		建築基準法・景観法	林歆太郎氏、井上慎也氏（京都市）
		指物の技法	大谷普賢氏（伝統工芸士）
		演習3 の講評 修了課題の中間報告	
13	R2. 7. 4	歴史的建造物と防災対策	益田兼房氏（国際記念物遺跡会議文化遺産 防災国際学術委員会）
		歴史的建造物の継承と税金	辻本尚子氏（税理士）
		修了課題中間発表会	
14	R2. 7. 25	修了課題発表会 （終了後、講座修了式・修了証書授与）	

#### ・文化財マネージャー育成講座スキルアップ講座

開催日	名称	実施内容
R2. 10. 15	文化財マネージャー の活動事例に学ぶ講 座	舞鶴での文マネ修了者の活動 講師 大滝雄介氏
R2. 11. 28	※オンライン(ZOOM) 開催	築120年の京終駅の復元と利活用での文マネ修了者の活 動 講師 神野武美氏

R3. 2. 23	文化財の防災と復旧を学ぶ講座 ※オンライン(ZOOM)開催	文化財の防災についての講義と災害復旧の実例から学ぶ 講師 室崎益輝氏 (兵庫県立大学大学院) 山川満清氏 (熊本県建築士会)
-----------	----------------------------------	--

## 2 市民等の活動に対する総合的支援

### (1) 地域活動支援

令和2年度は、京都市と連携し防災まちづくりに取り組む地域を重点的に支援するとともに、地域の魅力向上や課題解決に向けて、景観づくりやまちのルールづくりに取り組む地域の支援も継続し、魅力あふれる安心・安全な地域づくりを進めた。

#### ア 景観・まちづくり相談

当財団職員が、自主的なまちづくり活動に取り組もうとしている地域に対して、様々なアドバイスや各種情報提供等を行い、活動の継続、活動内容の更なる充実につなげた。

相談・支援件数 330 件 (令和元年度 388 件)

##### 【相談・支援内容の分類】

相談・支援内容	2年度件数	令和元年度件数
地域まちづくり活動、地域の現状等	224	336
マンション問題	7	22
当財団事業概要 (まちづくり活動支援事業等)	5	3
景観・まちづくりに関するルール (式目、地区計画、地域景観づくり協議会、建築協定等)	64	87
法律、条例関係 (都市計画法、景観法、建築基準法等)	34	42
防災まちづくり	191	206
まちづくりコーディネート事業	220	330
その他 (地域課題、講座、学生対応、視察等)	35	42
合計	780	1068

#### イ まちづくり専門家派遣

課題に応じて、まちづくりの専門家を地域に派遣し、地域活動を支援した。

※京都市からの委託事業における専門家派遣は別途記載

地区等	支援内容
東山区 祇園東地区石畳協議会 準備会	地域における石畳舗装化に向けた支援制度等のヒアリング調査、地域の意向確認、協議会の設置に向けた検討に取り組んだ。

左京区 大原自治連合会	「大原里づくりプラン」に掲げる「自主防災計画」に代わる「地区防災計画」の策定を支援した。
左京区 戸寺まちづくり委員会	地域の病院と協力して、新たな地区計画の策定を目指し、取組の運営と計画案の策定を支援した。
南区 大藪町自治会	防災まちづくりの取組支援及び来年度以降の具体的な取組方針に係る助言を行った。
下京区 有隣まちづくり委員会	避難所運営マニュアルの作成支援及び防災まちづくりの具体的な取組への助言等を行った。
下京区 菊浜まちづくり推進委員会	令和元年度に策定した「防災・福祉まちづくりプラン」に基づく取組や、避難所運営ゲームの運営支援、避難所運営マニュアルの策定検討を支援した。
上京区 小川通・上御霊前通境界 まちづくりの会	令和元年度に行った「小川・寺之内界わい歴史・文化サロン」の結果周知とともに、地域住民の意識共有を図る周知資料等の作成を支援した。

## ウ まちづくり活動助成

まちづくり活動に継続的に取組む地域に対して、運営活動費（活動広報物の作成や地域での勉強会の開催等）を助成した。

地区等	支援内容
中京区 朱雀第一学区自主防災会	「防災まちづくりマップ」の追加作成
南区 大藪町自治会	「防災まちづくりニュース」の印刷費及び勉強会の講師謝礼
左京区 大原自治連合会	「防災まちづくりニュース」「地区防災計画」の印刷費及び勉強会の講師謝礼
右京区 嵐山まちづくり協議会	「地域景観づくり計画書」の印刷費

## エ 景観づくり支援（京都市受託事業）

地域の個性を活かした魅力ある景観まちづくりを一層推進するため、京都市が実施する地域景観づくり協議会制度の普及啓発を図るとともに、各地域への専門家の派遣等、制度の活用及び地域活動の充実に向けた支援を行った。

### (7) 「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の活動支援

京都市に認定された協議会で構成される「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の定例会議を企画・運営し、各地域間の情報及び課題の共有と、本制度運用のあり方等の協議を行った。

【京都市地域景観まちづくりネットワーク】構成団体（計11地区）	
（中京区）	先斗町まちづくり協議会、姉小路界限まちづくり協議会、明倫自治連合会
（下京区）	修徳景観づくり協議会
（東山区）	西之町まちづくり協議会、一念坂・二寧坂 古都に燃える会 祇園新橋まちづくり協議会
（右京区）	仁和寺門前まちづくり協議会、京の三条まちづくり協議会、嵐山まちづくり協議会
（西京区）	桂坂景観づくり協議会

(イ) 各協議会及び今後制度活用を検討する地域への専門家派遣等の支援

各協議会が実施する意見交換会等の活動や、今後協議会制度の活用を検討する地域の活動に対して、現状にあった支援（専門家派遣等）を行った。

地区等	状況	支援内容
東山区 祇園新橋景観づくり協議会	協議会 設立済 計画書策 定済	「祇園新橋景観づくり協議会」への活動支援 景観づくり計画の認定後、実施されることとなる事前協議や課題解決に向けた取組においてアドバイスをを行った。
右京区 嵐山まちづくり協議会	協議会 設立済 計画書策 定	「嵐山まちづくり協議会」への活動支援 昨年度から引き続き、地域景観づくり計画書の策定支援及び計画の認定後、実施されることとなる事前協議や課題解決に向けた取組においてアドバイスをを行った。
上京区 笹屋町一丁目景観づくり協議会		「笹屋町一丁目景観づくり協議会」への活動支援 地域景観づくり計画書の策定に向けた支援を行った。
中京区 錦市場商店街 【新規】	協議会 設立	「錦市場商店街」への協議会設立を視野に入れた取組の支援 地域景観づくり協議会の設立を視野に入れた商店街へのルールづくりの取組に支援を行った。

(ウ) 景観づくり講座「京都景観ゼミナール」の開催

新型コロナウイルス感染症に対応するためオンライン開催を基本とし、景観に関する知識を得たい方や、地域の景観づくりに関心をお持ちの方を対象に、「景観」と「まちづくり」について、講義やバーチャルまちあるきを通じて、分かりやすく、学び、考える連続講座を開講した。（最大20名募集、19名参加、11名修了）

	日時	テーマ・内容	講師・ゲスト
1	R3. 1. 14	景観／景観まちづくりってどんなもの？ －景観の基礎知識－ ・「景観まちづくり」とは。 ・「景観」をどのように見て、理解すればよいのか。	森川宏剛氏 箕 正康氏 （京都景観フォーラム）

2	R3. 1. 15	<p>バーチャルまち歩きで景観視点を養おう！  <b>ー景観の読み解き方ー</b>          ・三条通を事例として、バーチャルまち歩き体験          ・実際のまち並み景観の多様性を理解しながら、          それを読み解く力「景観視点」を養う。</p>	山口敬太氏（京都大学大学院准教授）
3	R3. 1. 28	<p>どんな景観まちづくりがふさわしいのか考えよう！  <b>ービジョンの考え方ー</b>          ・地域の景観の魅力を守り、さらに良くするためのビジョンを考える。          ・三条通の実際の取り組みや京都市の景観政策について学ぶ。</p>	森本浩行（京の三条まちづくり協議会会長）

## オ 防災まちづくり専門家派遣（京都市受託事業）

密集市街地内において、「防災まちづくり」に取り組もうとする地域に専門家を派遣し、防災まちづくり計画の策定や計画実現のための各種活動に対する支援を行った。

地区等	状況	支援内容
東山区 粟田学区 【新規】	防災まちづくり計画策定に向け取組中	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 防災まちあるきを実施し、課題抽出・整理・共有するための地図を作成した。 (防災まちづくりの取組1年目)
下京区 醒泉学区 【新規】		「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 防災まちあるきを実施し、地域の防災に対する機運の醸成を図った。 (防災まちづくりの取組1年目)
中京区 梅屋学区		「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 防災まちあるきを実施し、住民を交えた防災まちづくりの取組、防災上の課題箇所の抽出・整理・共有するための地図を作成した。 (防災まちづくりの取組2年目)
中京区 本能学区		「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 住民アンケート調査の実施、分析・解析、結果の取りまとめ、情報の周知・啓発を行ったほか、ワークショップ等を通じた住民への防災意識の調査、意見交換を行った。 (防災まちづくりの取組2年目)
中京区 教業学区	2年度 防災まちづくり計画策定	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 防災まちあるきや防災部長勉強会、住民アンケートの実施、さらなる啓発及び課題共有し、防災まちづくり計画を策定した。 (防災まちづくりの取組3年目)

東山区 今熊野学区		「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 防災まちあるきを実施し、地域の課題共有を進めたほか、防災計画ワークショップ（意見交換会）により、まちの魅力、必要な取組等を議論し、防災まちづくり計画を策定した。 (防災まちづくりの取組3年目)
右京区 御室学区※	防災まち づくり計 画策定済	防災まちづくり計画の実現に向けた活動を支援した。 防災訓練時に、防災まちづくりに関するブースを設置し、防災まちづくり計画の周知・啓発を行った。 (防災まちづくりの取組5年目)
上京区 聚楽学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動を支援した。 専門家を派遣し、防災ウォークを実施し、防災上の課題と対策の意見交換を実施した。 (防災まちづくりの取組5年目)
上京区 出水学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動を支援した。 専門家を派遣し、防災まちあるきを実施し、課題と対策について意見交換を行った。 (防災まちづくりの取組5年目)
上京区 正親学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動を支援した。 専門家を派遣し、防災まちづくりの目的や取組の再確認を目的に、防災まちづくりセミナーを実施した。 (防災まちづくりの取組7年目)
上京区 仁和学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動を支援した。 専門家を派遣し、防災まちづくり計画の再確認を目的に、防災まちづくり勉強会・意見交換を行った。 (防災まちづくりの取組8年目)
中京区 朱雀第一学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動を支援した。 専門家を派遣し、防災まちづくり交流会を開催し、対策について意見交換を行った。 (防災まちづくりの取組8年目)

- ・【新規】は、令和2年度から新たに支援を行った地域を示す。
- ・※付の地区は、密集市街地内の「優先的に防災まちづくりを進める地区」を示す。

## カ 建築協定等を活用したまちづくり専門家派遣（京都市受託事業）

建築協定の締結又は地区計画の策定等を目指してまちづくり活動を行う地区を対象に、専門家を派遣し、地域住民の主体的な取組に対して支援を行うとともに、建築協定地区65地区が加入する京都市建築協定連絡協議会の活動支援を行った。

### (7) 専門家派遣

新たに建築協定制度又は地区計画制度の活用を検討する地域等への専門家の派遣を行った。

地区等	支援内容
山科区 清水焼団地町	「清水焼団地協同組合」への活動支援 まちづくりに主体的に取り組む環境の整備や、まちづくり活動を継続できる体制づくり等の支援を行った。
中京区 立誠学区	「立誠民生児童委員協議会」への活動支援 立誠小学校跡地に完成した立誠ガーデンヒューリック京都内に設置されている図書館や芝生広場を活用したまちづくりを展開するための取組支援を行った。
西京区 川岡学区	「川岡学区自治会連合会」への活動支援 学区民の健やかな暮らしを実現することを目的に、ウォーキングイベントの開催や、まちのあり方やまちの将来像の検討を支援した。
伏見区 久我御旅町南部住宅地区	「久我御旅町南部住宅地区」への活動支援 建築協定の更新に向けて住民共有のための勉強会の実施などの支援を行った。

(イ) 連絡協議会への活動支援

総会、役員会、研修会などの活動支援や、協議会活動を対象とした補助金の交付を行った。

(2) 京町家再生支援

ア 京町家なんでも相談

京町家の保全、再生、活用について、京町家所有者・居住者の多くが様々な悩みを抱えている。本事業は財団の京町家事業の総合窓口として、相談者に寄り添い、悩みに対して複合的な課題の整理や具体的な方策を示すことにより課題解決につなげた。

(7) 一般相談 486件（令和元年度実績 367件）

当財団職員が一次対応として、相談内容に応じて各種公的制度、専門相談および団体紹介を行った。

(イ) 専門相談 38件 ※自主事業6件、受託事業32件（令和元年度実績 50件）

大工、建築士、不動産事業者等の実務者による専門相談を行った。平成30年10月以降、専門相談は京都市委託事業「京町家所有者と活用希望者等のマッチング制度の運用業務」として実施している。令和2年度に委託事業として実施した専門相談の件数は32件であり、自主事業とあわせると38件となる。

## 【相談項目内訳】

令和3年3月31日時点

相談項目	合計件数
改修・修繕	190
活用	76
賃貸	35
売買	32
耐震、防火	17
相隣問題	22
相続、所有権関係	15
維持・管理	13
資金、公的な支援制度	152
京町家まちづくりファンド	41
京町家カルテ	89
京町家等継承ネット	16
その他（視察、協力依頼、情報提供など）	89
合計件数	787

※複数選択のため、相談件数の合計とは一致しない。

(参考) 京町家等継承ネット事業としても相談対応を行っている。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で相談会は開催を見送った

一般相談	0件	(京町家なんでも相談会)	
専門相談	11件	(京町家なんでも相談会、その他)	
		京町家なんでも相談会	0
		京町家なんでも相談会後の往訪相談	0
		大型町家継承モデルプロジェクト相談	11

### (ウ) 京町家専門相談員

平成30年10月以降、専門相談は京都市委託事業「京町家所有者と活用希望者等のマッチング制度の運用業務」として実施し、「京都市京町家相談員」と制度を新たにした。制度の運用に伴い、相談員研修として実施していた「京町家専門講座」は廃止し、京都市京町家相談員の登録研修、スキルアップ研修として実施することとした。

京都市京町家相談員登録者数 79名（令和2年4月1日時点）

## イ 京町家データベース

平成20、21年度京町家まちづくり調査によって調査した約48,000件の京町家等を元にIDを付与した京町家をエクセルファイルにて管理し、あわせてGIS（地理情報システム）を用いて、地図上にて地理的な情報として管理・出力している。

個々の京町家について、専門相談、京町家カルテ、京町家まちづくりファンド、建物調査報告書の作成等の相談・対応履歴を入力し、年度毎、個々の京町家に関する情報を一元的に管理する京町家データベースを運営している。

## ウ 京町家改修ガイドライン作成業務

京町家を活用した事業を行う事業者は、京都市における観光事業とその歴史的・文化的魅力と相まって、増加傾向にあると思われる一方で、事業用に京町家を改修する際には、伝統的な構法を無視するだけでなく、安全性も十分に確保しない事例が多くみられる。

このため、適切な京町家の改修方法や望ましい改修事例等を集約した京町家の改修に関する小冊子「京町家をリノベする、その前に。」を作成した。令和2年度は印刷物を配布するとともにデータをホームページ上で公開し、京町家の適切な改修についての普及促進を図っている。(令和元年度の作成業務は市補助事業、令和2年度の印刷は財団の自主事業)

## エ 京町家等継承ネット

京町家等の適切な継承を促進することを目的として、平成26年11月21日、京町家継承ネット(代表 高田光雄 京都美術工芸大学教授、京都大学大名誉教授)が設立された。当財団は事務局として、京町家継承ネットを構成する京町家等の継承に関わる多くの団体、所有者や居住者とともに、京町家等の継承に取り組む。

令和2年度は、引き続き、大型町家や景観重要建造物に値する京町家に対して積極的な相談の対応を行うとともに、継承・活用のニーズの把握等、継承ネットがその受け皿となった。特に大型町家の継承に対する具体的な支援策の充実が急務であり、継承ネットとしての支援システムの確立を目指した。また、公民連携による相談体制を強化するため、最新事例の共有や利活用手法について意見交換会を行なっている。

### (7) 運営に関する行事

開催日	内容	出席者
R2. 6. 18	京町家等継承ネット第7回全体会議(書面委員会) ・前年度決算、事業計画等の承認(オンラインで議案説明)	30
R2. 10. 6	京町家等継承ネットコア会議 ・個別の相談案件に関する往訪相談	6
R2. 10. 15	京町家等継承ネットコア会議 ・相談案件、活用希望者の情報共有、活用に関する意見交換等	6
R2. 10. 29	京町家等継承ネットコア会議 ・個別の活用希望事業者の相談案件に関する相談対応等	7
R2. 11. 13	京町家等継承ネットコア会議 ・個別の相談案件に関する相談対応、意見交換等	6
R3. 2. 24	京町家等継承ネットコア会議 ・個別の相談案件に関する往訪相談	6
R3. 3. 15	京町家等継承ネットコア会議 ・個別の相談案件に関する相談対応、意見交換等	6

### (イ) 普及・啓発の取組

#### 集中相談会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、従来の方式での相談会は困難な状況にあるため、開催を見送った。

#### (ウ) 支援システムの開発に係る取組

大型町家の相談案件については、随時整理と情報共有を行い、モデルプロジェクトの進め方を検討した。京町家での事業展開を希望する事業者からの相談に対しては、相談内容に応じた情報提供を行った。また、京町家のマッチングシステムのあり方やその内容について、会員団体とともに検討を行った。

##### a 大型町家継承モデルプロジェクト

(継承ネットにて相談対応を行った京町家相談案件 11件)

京町家なんでも相談等で受けた相談案件の大型町家について、京町家等継承ネットにて継承・活用提案や公的指定のため往訪相談及び活用提案を行った。

J 邸（中京区）：相続後の活用相談を経て賃貸募集中。また、歴史的風致形成建造物等への指定に向けて支援（コア会議での検討等）を継続している。

H 邸（伏見区）：大型町家の改修相談。

N 邸（東山区）：京町家とその裏にある複数の貸家を一括しての売却相談。保全・継承に向けた売却方法の助言を経て、親族で協議中。

J 邸（上京区）：文化財の京町家の活用相談。

H 邸（上京区）：活用、改修の相談（コア会議での検討等）を経て売却、賃貸活用を親族で協議中。

O 邸（伏見区）：大型町家の活用相談。

H 邸（東山区）：京町家まちづくりファンド改修助成事業選定、景観重要建造物への指定に向けて支援を行った。

K 邸（左京区）：京都大学の研究機関がセミナーや会議を行う場所を近隣で探していたことから、当財団より文化財として公開されているK邸を紹介し、レンタルスペースとして不定期に利用されることとなった。

G 邸（伏見区）：歴史的風致形成建造物の町家の活用相談。

K 邸（中京区）：改修の相談であったが、保全・継承に向けた助言を行い、賃貸活用することとなり、相談継続中。

T 邸（下京区）：京町家まちづくりファンド改修助成後、利活用の相談があり、賃貸活用することとなった。

##### b 歴史的建築物の保全・継承に向けた公民連携による方策の意見交換会

京町家をはじめとした歴史的建築物の保全及び継承の一層の促進を目的として、公民連携による今後の方策について、闊達な意見交換の場を設けた。大型町家継承モデルプロジェクトの案件や最新事例をベースに実務的な解決策を検討している。

	開催日	内容	出席者
1	R3. 2. 4	・大型町家継承プロジェクト課題と成果 ・企業誘致の促進 話題提供 橋本操氏 (産業イノベーション推進室企業立地推進課長)	27
2	R3. 3. 4	・山間部の農家、古民家の保全・継承 話題提供 石川祐一氏 (文化市民局文化財保護課主任) ・古民家の再生、活用等 話題提供 畑哲也氏 (一般社団法人京都中央古民家再生協会)	27

主な参加者

所 属		氏名（敬称略）
京都美術工芸大学	教授	高田 光雄
京都府宅地建物取引業協会	情報提供委員会委員長代理	山田 崇博
全日本不動産協会京都府本部	理事	田中 勇人
都市居住推進研究会	運営委員	西村 孝平
京町家居住支援者会議	事務局長	吉田 光一
京都府不動産コンサルティング協会	副理事長	山下 善彦
	全国不動産コンサルティング協会会長	井上 誠二
一般社団法人 相続相談センター	理事長	岡本 秀巳
都市計画局まち再生・創造推進室		
都市計画局建築指導部建築指導課		
都市計画局都市景観部景観政策課		
文化市民局文化財保護課		
産業観光局産業イノベーション推進室		

C 大型町家継承に向けた支援システムの開発

- ・継承・活用マッチングシステムとして「MATCHYA」の WEB、リーフレットにて、情報発信を行い、多様な活用事例を提示している。
- ・継承・活用の手法や事例について情報を収集した。

3 各種団体等との交流及び協働活動

ワールド・モニュメント財団（WMF）との連携

ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。

平成 30 年度は、第 3 期京町家再生プロジェクトとして四条町大船鉾保存会会所の改修や普及啓発の事業を、公益財団法人四条町大船鉾保存会、特定非営利活動法人京町家再生研究会、一般社団法人京町家作事組と協働して実施した。令和元年 5 月には、ワールド・モニュメント財団の役員、寄付者の日本ツアーの受け入れを行い、支援プロジェクトの視察や関係者との交流を図った。

平成 30 年 9 月、2018 年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞を四条町大船鉾会所の改修プロジェクトが受賞したことを契機に、令和元年 9 月、クロアチアで開催された国際会議ベスト・イン・ヘリテイジ 2019 に招待を受けた。結果、「Members of the excellence Club Member」（優秀賞）に選ばれた。この会議には世界各国の文化遺産保全プロジェクトの 42 団体、博物館の関係者、ユネスコ、ICOM などから有識者が参加していた。会議の内容は記録され、Members of the excellence Club Member のプロジェクトについては動画配信等もされている。令和 2 年度は WMF 関係者の来日が新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止された。

（参考）

- 京町家再生プロジェクト 第 1 期 釜座町町家（平成 23 年度）  
 第 2 期 旧村西家住宅（平成 24 年度）  
 第 3 期 四条町大船鉾会所（平成 28～令和元年度）

<第 3 期プロジェクト スケジュール>

- H30.9 2018 年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞受賞  
 R1.5 ワールド・モニュメント財団役員、寄付者の来訪  
 R1.9 2019 年ベスト・イン・ヘリテイジで発表、優秀賞受賞

## 4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

### (1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

京都の歴史及び文化の象徴であり、都市居住を支えてきた京町家を育み、未来に伝えるため、寄附金を積み立て、その運用により、京町家の保全、再生、活用を促進し、京都固有の暮らしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承・発展と、町並み景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的として、京町家まちづくりファンドを運営する。

平成30年度の京町家条例の施行を受け、京都市における公的助成の支援メニューが充実したため、令和元年度より京町家まちづくりファンドの位置づけや助成制度の対象等を見直し、改修助成事業の今後の方針について転換を図った。令和2年度は昨年度に引き続き、市民に開かれた場づくりやまちづくり活動に寄与する京町家の改修、町並みの保全の観点から通り景観の修景への支援を行った。

#### ア 京町家まちづくりファンド委員会運営

令和2年10月16日 第44回京町家まちづくりファンド委員会開催

令和3年3月25日 第45回京町家まちづくりファンド委員会開催

<令和2年度 京町家まちづくりファンド改修助成事業の選定について>

令和2年度は、京町家の改修2件、通り景観の修景1件を選定した。

- ・八田邸（東山区渋谷通本町東入四丁目鐘鋳町）
- ・山野邸（中京区竹屋町通室町東入亀屋町）
- ・吉田神楽岡旧谷川住宅群（左京区吉田神楽岡町）

各案件の工事進捗については後述する。

#### 京町家まちづくりファンド委員会委員

【令和2年度委員】敬称略

大場 修	（委員長）	京都府立大学大学院 教授
島田 昭彦	（副委員長）	地域活性プロデューサー、京都観光おもてなし大使、 （株）クリップ代表取締役
浅井 國勝		京都商工会議所 議員、株式会社朝日堂 代表取締役会長
田房 夏波		（株）和える 西日本事業責任者、「aeru gojo」ホストマザー
深尾 昌峰		龍谷大学政策学部 教授
中山 雅永		京都市都市計画局・建築技術・景観担当局長

#### イ 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業

##### (7) 事業報告会・京町家見学会の実施

令和2年度 京町家まちづくりファンド京町家見学会

日時：令和2年12月11日（金）

会場：①五条坂なかにわ路地（令和元年度選定）

所在地：東山区大和大路通五条下る東入芳野町83

②八田邸（令和2年度選定）

所在地：東山区渋谷通本町東入四丁目鐘鋳町392-1

※今年度の見学会は、見学者数を制限しながら、京町家相談員のスキルアップ研修も同時に開催した。

#### (イ) 連携協定締結

一般財団法人日新電機グループ社会貢献基金、京都市、京都市景観・まちづくりセンターで、文化財の維持・保存・活用、京町家の保全・継承及びこれらのPRに関する事業についての連携協定を締結している。令和2年度は、令和元年度に引き続き、京町家の保全・継承に係る改修助成に対し、50万円の寄附をいただいた。

### (2) 京町家カルテ・京町家プロフィール・京建物カルテの作成

京町家の価値への理解を深め、保全・継承に繋げるため、京町家の歴史や文化的な価値をまとめた「京町家カルテ」、内容はカルテより簡易であるが、発行までの所要時間が短く低料金である「京町家プロフィール」を発行した。令和元年度からは、京町家以外の近代和風建築などに対して「京建物カルテ」を発行した。

令和2年度においては、京町家カルテ事業発足から10年であり、京町家カルテ・プロフィール事業の経過を整理分析するとともに、事業の意義及び今後の方向性を検討する基礎資料とすることを目的に、追跡調査を行った。

	令和2年度発行件数	令和元年度発行件数
京町家カルテ	10件	22件
京町家プロフィール	69件	57件
京建物カルテ	2件	2件

### (3) 京町家に関する普及啓発業務(京町家カルテ簡易版の作成)(京都市受託事業)

所有者の京町家保全・継承に努める意識を醸成するため、京町家条例における個別指定京町家を対象として、新たに京町家カルテの簡易版を作成した。

	令和2年度発行件数	令和元年度発行件数
京町家カルテ簡易版	8件	7件

### (4) 建物調査報告書作成業務(京都市受託事業)

保全・再生を目指す大型京町家等の所有者に対して、建物調査報告書作成の支援を行い、京都市の歴史的建造物関係各課と連携して、今後の保全や公的指定等に向けた取組を行った。

今年度は、京町家2件について、建物調査報告書を作成した。



(中京区)



(伏見区)

### (5) 建造物指定に係る調査資料作成業務（京都市受託事業）

京町家条例における個別指定京町家のうち、景観重要建造物又は歴史的風致形成建造物等の指定候補となる京町家について、審議会に提出する諮問資料作成のための調査資料を作成した。

	作成件数
景観重要建造物候補	2
歴史的風致形成建造物候補	1
景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物候補	2
合計	5

### (6) 京町家の文化教育プログラムの開発・実施業務（京都市受託事業）

次世代を担う子ども達や京町家に関わる事業者・専門家等が、京町家の持つ価値や京町家で培われた生活文化を理解し、多様な主体で京町家の価値を共有すること目的として、京町家の価値や生活文化を学習することができる教育・研修を実施した。

#### ア 子ども向け教育及び事業者向け教育の実施

平成30年度、令和元年度に収集・作成した京町家に関する基礎資料、教育研修資料及び教育プログラム等を活用し、子ども向け教育及を実施した。

#### (7) 高校生を対象とした授業（京都聖母学院高校）

##### ① 高校1年生対象

日 時	令和2年11月11日（水）10：45～15：10
場 所	京都聖母学院高等学校（伏見区深草田谷町1）
参加者数	京都聖母学院高校1年生 119名
授業内容	①体験授業 ・匂い香づくり（協力：株式会社 松栄堂） ②座学※ ・京町家の解説（講師：（公財）京都市景観・まちづくりセンター） ・龍谷大学深草町家キャンパス解説

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京町家がおかれている現状と保全再生への取組について、DVD鑑賞</li> <li>・京町家の暮らしと仕事について、映像鑑賞</li> <li>・ワークシートへの記入（授業の感想）</li> </ul>
--	--

※龍谷大学深草町家キャンパスが使用不可となったため、急遽見学会を座学に変更した。

## ② 高校3年生対象

日 時	令和2年11月13日（金）11：45～14：10
場 所	京都聖母学院高等学校（伏見区深草田谷町1）
参加者数	京都聖母学院高校3年生 113名
授業内容	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『京町家のたてものくらし』 講師：西尾由輔（(公財)京都市景観・まちづくりセンター 事務局次長）</li> <li>・『京町家での暮らしと仕事』 講師：北井秀昌氏（㈱北井 代表取締役）</li> </ul>

### (イ) 事業者を対象とした研修（京都信用金庫）

事業者を対象とした研修として『(仮題) 京都らしい資産活用の方策』をテーマとした講義を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出により事業者側の業務が制限されたため、実施及び受講が困難になったことから中止された。

## イ 体験学習の場となる京町家の確保

京町家の体験学習の機会の拡大を図るため、平成30年度に作成し令和元年度に拡充した、「体験学習の場となる京町家の候補リスト」に掲げる京町家について、実際に子ども向け教育で見学できるよう京町家所有者との交渉・調整を行った。ご協力いただけることとなった京町家3件については、建物の基礎的な情報を資料化した。京都市を通じて今後教育機関に提供予定である。

## (7) KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2020 アソシエイテッド・プログラム

### 「Machiya Vision」の開催

(公財)京都市景観・まちづくりセンターとKYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭がコラボレーションし、京町家の未来へのビジョンを発信する展覧会「Machiya Vision」を開催した。

本展覧会は書店のイベントスペースにて開催し、居住者、職人、建築家、研究者、起業家、支援者など京町家に関わる人々へのインタビューや、生活の様子を捉えた映像、京町家のディテールの写真などで構成したインスタレーション作品とパネルを展示し、京町家の美しさと、保全・継承の重要性を訴えた。

## ア 開催概要

開催期間：令和2年9月3日～9月30日（内覧会 9/2 17：00～19：00）

時 間：10：00～21：30（最終日は18：00まで）

会 場：大垣書店京都本店 イベントスペース—催—（SUINA 室町1F）  
京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78 SUINA 室町1F

内 容：京町家に関するメディアアート、パネル展示、資料配架等

主 催 等：公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭

協 力：大垣書店、RECYCLE inn KYOTO、Sony PCL、STUDIO AQA

来場者数：内覧会参加者数 62名  
会期中通算来場者数 5,610名

## イ インタビュー対象者・協力者

市川陽介（市川屋珈琲店主）  
糸六株式会社  
大場修（京都府立大学大学院教授）  
小畑英明（公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金理事長）  
北井秀昌（株式会社北井代表取締役）  
五条坂なかにわ路地  
佐藤知久  
佐藤文絵  
ジェフリー ムーサス（Geoffrey P. Moussas）（建築家、Design1st 代表）  
清水香那（STARDUST 店主）  
下村敏和（町家居住者）  
Sansan Innovation Lab（Sansan 株式会社）  
ダイヤモンド（イラストレーター）  
野口琢郎（箔画作家）  
ブノワ ジャケ（Benoît Jacquet）  
（フランス国立極東学院准教授、国立パリ・ラ・ヴィレット建築大学客員准教授）  
前田昌弘（京都府立大学大学院准教授）  
光田彰（京都建築専門学校講師、京・町屋工舎代表）  
森紗恵子（谷村邸、つづれ織工房おりこと）  
矢島里佳（株式会社和える代表取締役）  
山崎順也（スプリングバレーブルワリー株式会社店舗責任者、マーケティングディレクター）  
山脇直人（Sansan 株式会社 DSOC ブランドクリエイター）  
横井邸  
若村亮（株式会社らくたび代表取締役）  
（敬称略・五十音順）

## ウ 展覧会の様子



## エ 映像作品・パネル展示

当財団と KYOTOGRAPHIE とのコラボレーションによって制作されたインタビュー映像は、当財団の京町家保全・継承に関わる普及啓発活動に活用している。具体的な活用方法としては、当財団が受託した「京町家の文化教育プログラムの開発・試行実施業務」で実施する、学校教育現場での京町家に関する授業の資料として活用した。

映像には英語字幕が入っているため、海外での活用も可能であり、既にアメリカのイェール大学建築学部大学院での講義資料として使用されている。

パネルに関しては、展覧会終了後、京都市景観・まちづくりセンター内の交流サロンにて一部を展示している。

## オ 特設ホームページの開設

当財団ホームページの特設ページとして、「Machiya Vision」のホームページを開設。ホームページの構成は以下の通り。

- (ア) 展覧会コンセプト
- (イ) 展覧会概要
- (ウ) Matterport による展覧会会場の 3D 映像
- (エ) インタビュー映像
- (オ) 町家について
- (カ) 主催者情報



「Machiya Vision」 特設ホームページイメージ



Matterport による展覧会場 3D 映像配信画面



インタビュー映像配信画面



財団ホームページトップの「Machiya Vision」特設ホームページバナー

## 5 公共人材育成に関する教育及び研修

### (1) インターンシップ受入

当財団を実務経験の場として提供し、大学での履修科目と実際の現場での実務経験を通して、公共的感性を持った人材を育成することを目的に、連携大学からインターンシップ履修生の受入れを実施した。

大 学	学 部 等	人数	受 入 期 間
京都女子大学	文学部史学科日本史専攻	1	R2. 8. 17-R2. 8. 21
京都女子大学	家政学部生活造形学科	1	R2. 8. 24-R2. 8. 28

### (2) 視察受入

国内外の行政機関、大学等からの視察を受入れ、当財団の活動紹介等を行った。自主財源増加の取組として、賛助会員への加入を条件としている。

3 団体

受入日	団体名	人数	内 容
R2. 7. 22	京都府朱雀高等学校	10	京町家について
R2. 11. 8-9	グリーンリノベ書籍執筆者グループ	3	既存住宅の省エネ改修をテーマとしてリノベに向けての一般の方向けの本を執筆しているメンバーで、next21を見学することに併せて、京都の取組、事例を見学するもの。
R3. 3. 24	名古屋市	5	京町家まちづくりファンドについて
合 計		18	

### (3) 講師派遣

講師派遣の依頼に応じて当財団職員を派遣し、当財団の活動紹介等を行った。

派遣日	派遣先	人数	内 容
R2. 11. 17	京都女子大学	43	連携活動入門「まちづくりの担い手としての市民 京都のまちづくり」
合 計		43	

## 6 景観整備機構に関わる関連業務

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補に値すると判断した京町家について、京町家なんでも相談や京町家まちづくりファンドの助成事業等と連携し、景観重要建造物への指定を推進すると共に、建物の特性や所有者の意向に応じた他の公的指定（歴史的風致形成建造物、京都を彩る建物や庭園、国登録有形文化財等）への提案も行う。

また、相談等に応じてきた京町家等について、公的指定等に向けて継続的な支援を行っている。

### 【歴史的風致形成建造物 指定済】1件



(中京区)

### 【今後、指定等につながる見込みの案件】6件



(東山区)



(北区)



(下京区)



(中京区)



(中京区)



(中京区)

【「京都を彩る建物や庭園」に推薦して選定された案件】1件



(伏見区)

## 7 京都市景観・まちづくりセンター管理運営

令和3年度から令和6年度までのセンターの指定管理者として選定された。  
センターの来館者の増加、施設価値の向上を目的として、以下の取組を行う。

- ・センター利用者数 37,937人（令和元年度末実績 58,160人）

### (1) 京のまちかど展示コーナー

展示物やボランティアガイドによる京都のまちづくりの歴史や暮らしを紹介する。  
ボランティアガイド9名とし、概ね週3回はボランティアが配置できる体制が整備された。  
これを契機として、教育機関への働き掛けや積極的な広報活動により、利用者の増加を図った。

- ・京のまちかど利用者数 25,742人（令和元年度末実績 36,741人）

＜利用者拡大に向けた取組＞

- ・夏の京都のミュージアムに参加（京博連発行デジタルパンフレット）
- ・関西文化の日（関西の博物館等の文化施設連携イベント）に参加

### (2) 図書コーナー

ひと・まち交流館 京都 図書コーナーを運営している。

- ・所蔵資料数 令和2年度末時点 ※（）内は令和元年度末時点の点数。

内 訳	点 数
一般書籍	12,413 (14,586)
郷土資料	1,066 (1,019)
行政資料	1,009 (1,006)
視聴覚資料	310 (310)
雑誌	402 (386)
地図、絵本等	558 (541)
合計	15,758 (17,848)

- ・利用状況

内 訳	令和2年度末実績	令和元年度末実績
利用者数	15,943人	20,993人
利用者カード新規発行数	105枚	158枚
利用者カード延べ発行数	3,979枚	3,874枚
図書等貸出数	2,009点	2,598点

#### ア 巽和夫文庫の開設について

故・巽和夫氏（元京都大学名誉教授、都市住宅学会初代会長、元全国建築審査会協議会会長）の御遺族や有志による「巽和夫記念文庫プロジェクトチーム」（代表高田光雄 京都大学大学院工学研究科教授）の御協力の下、巽氏が所蔵されていた資料2,105冊の蔵書を当財団に寄贈いただいた。これを広く市民の皆様に活用いただくため、ひと・まち交流館図書コーナーに「巽和夫記念文庫」を設置している。

#### イ 利用者拡大に向けた取組について

①毎月4センターが交代で企画した「企画展示」を行っており、2週間ごとに季節や時事的話題に沿った題材で「ピックアップ」展示を行っている。

②ひと・まち交流館地下1階に設置されている国宝洛中洛外図屏風（上杉本）実物大複製パネルを活用し、屏風に描かれた室町時代の京都の四季とそこに暮らす人々の生活風俗を紹介する催し（ギャラリートーク）を行っている。

開催日	テーマ	出席者
R2. 05. 02	「洛中洛外図の下京を歩く 2（下京区編）」をテーマにフィールドワーク	中止
R2. 08. 29	「屏風に描かれた中世の人々」	15
R2. 10. 25	「洛中洛外図の下京を歩く vol.2」	29
R3. 01. 24	「洛中洛外図の東山を歩く」	25

### (3) まちづくり交流サロン

市民に広く開かれたコーナーとして打ち合わせ等ができるサロンを提供している。

### (4) まちづくり工房

リーフレット、ホームページ、フェイスブック、メールマガジン等により、地域や活動団体へ積極的に登録及び利用を呼びかけた。

コピー機、印刷機、紙折機、製本機等を設置し主催、共催事業等での活用、登録団体への貸し出しを行った。

<稼働回数> 54回（令和元年度末実績 70回）

### (5) ワークショップルーム

景観・まちづくり大学をはじめとする、主催、共催事業等での活用、登録団体への貸し出しを行っている。

<稼働回数>

ワークショップルーム1：274回（令和元年度末実績 185回）

ワークショップルーム2：267回（令和元年度末実績 169回）

ワークショップルーム3：展示施設「京町家情報コーナー」を運営

### (6) 地域まちづくり情報コーナー兼京町家情報コーナー

ワークショップルーム3において、京町家の構造などが分かる模型や京町家に関わる活動団体の情報を展示する。また、「まちづくりギャラリー」として、景観・まちづくりに取り組む団体に対し、貸しスペースを提供する。

平成29年2月24日（金）～ 「着物づくりと京町家」展（ミニチュアハウスと紙彩画）を常設展示している。

## 公2：京町家保全再生事業

良質な地域コミュニティの形成と歴史都市・京都の景観の基盤を構成してきた、京町家等の伝統的建造物を保全・継承し、伝統的な京都の暮らしの文化を今に活かすとともに、歴史資産としてのストックと新たに形成される良質な建造物とが融合した京都らしい活力のある歴史的町並みの形成を目的とする。

### 1 京町家まちづくりファンド改修助成

京町家まちづくりファンド基本方針に基づき、京町家の再生・修復及び通り景観の修景に係る工事等の活動に対し、改修費用の一部を助成した。

令和2年度交付実績： 令和元年度選定分 1件（五条坂なかにわ路地）

合計 1件

#### 【助成金交付案件】

#### 令和元年度選定 五条坂なかにわ路地（東山区）

##### 助成対象工事

- ・路地内の京町家の外観改修、路地の整備

子育て世代を含む多世代が快適に暮らす路地として、コミュニティの形成に寄与することが期待される路地再生事業である。改修には大工棟梁の指導のもと、京都建築専門学校で大工や建築士を目指す学生が実地研修として工事に携わっており、次世代の技術者育成にも貢献した。また、住人のヒアリング調査や改修計画に関わった学識者にも助言をいただいた。（令和2年12月完了）



改修前



改修後

## 令和2年度選定 八田邸（東山区）

### 助成対象工事

- ・屋根・外壁・外部建具・格子の改修（令和3年度工事完了予定）

東山区五条坂に位置する本二階建の京町家。京焼に従事していた祖父と父から受け継いだ京町家を、居住エリアと陶芸作品のギャラリー兼飲食エリアに分けて改修を行う計画。町並みに配慮した改修を行うと共に、地域のコミュニティ形成への貢献できるような活用を目指している。



改修中の様子

## 令和2年度選定 山野邸（中京区）

### 助成対象工事

- ・屋根・外壁の改修（令和3年7月着工、令和3年10月竣工予定）

かつて料亭として地域の食文化に貢献してきた、築100年程になる数寄屋造りの建物を、地域に開かれた文化体験教室やワークショップ、地元の祭礼等で活用できるようにするために改修する計画。



改修前の様子

## 令和2年度選定 吉田神楽岡旧谷川住宅群（左京区）

### 助成対象工事

- ・石畳側溝、擁壁の改修（令和3年4月着工、令和3年6月竣工予定）

吉田山の東斜面に位置し、大正後期から昭和初期にかけて形成された数寄屋の町並みがほぼ原形を残している近代和風住宅群。個別の住宅の公的指定を目指すとともに、住宅群として通りや石垣等の保全と修景を目指す。



改修前の様子

## 2 京町家再生プロジェクト（再掲）

ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。

（参考）

- 京町家再生プロジェクト 第1期 釜座町町家（平成23年度）  
第2期 旧村西家住宅（平成24年度）  
第3期 四条町大船鉾会所（平成28～令和元年度）

〈第3期プロジェクト スケジュール〉

- H30.9 2018年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞受賞  
R1.5 ワールド・モニュメント財団役員、寄付者の来訪  
R1.9 2019年ベスト・イン・ヘリテイジで発表、優秀賞受賞

## 収益事業

### 京町家まちづくりクラウドファンディング活用支援事業

広く国内外からの投資を募り、民間からの資金を導入することにより、幅広い担い手による京町家の保全・再生・活用を行い、もって京都固有のくらしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承、発展と、まちなみ景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的とし、クラウドファンディングを利用した京町家の改修を支援する。

## **(1) 活用事業者の選定及び支援**

京町家を改修、活用して事業を実施しようとする活用事業者を選定し、クラウドファンディングの仕組みを利用し、京町家の改修費用を調達する際に、資金面での支援を行う。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、京都市の事業費の見直しが行われ、募集を行わなかった。

## **(2) 京町家まちづくりクラウドファンディング委員会運営**

公正かつ効果的なファンドの管理及び運営を行うため設置した京町家まちづくりクラウドファンディング委員会を運営する。指定事業者及び活用事業者の選定について審議を行う。

令和2年度は、京町家まちづくりクラウドファンディング委員会を開催していない。

## 法人運営

### 1 理事会・評議員会

理事会、評議員会等を下表のとおり開催した。

#### 【理事会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 32 回	R02. 6. 8	令和元年度事業報告及び決算について 評議員選定委員の推薦について 顧問の推薦について 評議員会への理事候補者名簿の提出について
第 33 回 (書面理事会)	R03. 2. 10	第 17 回評議員会の開催について
第 34 回	R03. 3. 23	令和 3 年度事業計画及び収支予算について 令和 3 年度資金運用計画について 特定費用準備資金の保有について 第 6 次中期経営計画について

#### 【評議員会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 16 回	R02. 6. 25	理事の選任について 令和元年度事業報告及び決算について
第 17 回	R03. 3. 24	令和 3 年度事業計画及び収支予算について 令和 3 年度資金運用計画について 特定費用準備資金の保有について 第 6 次中期経営計画について

### 2 賛助会員管理

賛助会員の拡大を目指し、当財団の事業活動を通じ積極的な呼び掛けを行うほか、団体会員の増加のため企業訪問等を行った。

また、平成 28 年から賛助会費が所得税の税額控除（従前は所得控除）対象となり新規会員の拡大に努めた。

<入会状況> 令和 2 年度末 ※（）内は令和元年度末の実績。

種別	延べ人数、団体数	会費収入
個人会員	183 人（133 人）	1,090,000 円（820,000 円）
団体会員	21 団体（23 団体）	1,050,000 円（1,150,000 円）
		2,140,000 円（1,970,000 円）

【参考】（年間会費）個人（1 口） 5,000 円  
団体（1 口） 50,000 円

### 3 職員研修の充実

職員の資質、能力向上を図ることを目的として、研修に参加している。

開催日	研修名	講師
R2. 4. 1-4. 5	新任職員研修	当財団職員
R2. 7. 1-7. 2	新任職員研修	当財団職員
R2. 8. 20-21	会計セミナー	公認会計士 辺土名 厚
R2. 8. 31	京都のまちづくりの基礎知識	京・まち・ねっと まちづくり専門家 石本 幸良
R2. 9. 23	立入検査のポイントと対策	公益法人協会 相談室専門委員 星田 寛
R2. 11. 24	「寄付集めのポイント」解説 セミナー	コングラント(株)代表取締役 佐藤 正隆 リタワークス(株)代表取締役 同上
R2. 11. 25	実践簿記会計講座 (Web)	神奈川大学名誉教授 岡村 勝義

まちづくりコーディネーター向けに業務関連資格の所得奨励制度を設けている。令和2年度は、実施し宅地建物取引士試験  
宅地建物取引士試験に1名合格

### 4 その他

環境改善の取組として、K E S（環境マネジメントシステム）ステップ1を推進した。

<取組内容>

環境改善項目	
省エネルギー化	電力使用量3%増 (平成29年度基準)
省資源化	事務用紙使用量削減46%削減 (平成29年度基準)
啓発活動	建物周辺の清掃 (毎月1回平均8人以上の参加)
省エネルギー化	京町家カルテ作成 10件 京町家プロフィール作成 69件